

香港株式市場フラッシュ

デフレ圧力下で業績伸長のラーメンと火鍋の中国企業

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

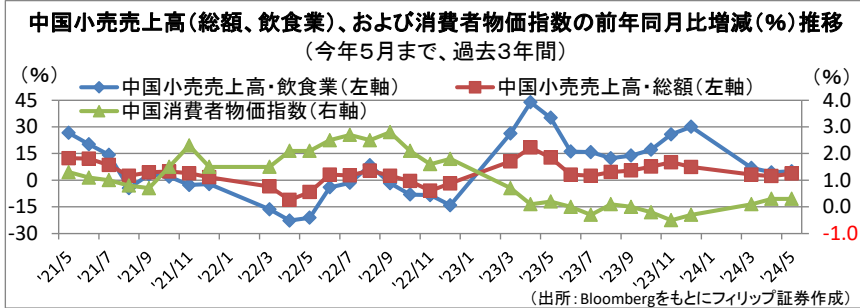
2024年7月10日号(7月10日作成)

“小売売上高は足元堅調も、デフレ圧力で格安業態が繁盛”

百貨店やスーパーの売上げ、インターネット販売などを合計した中国の社会消費品小売総額(小売売上高・総額)は、5月が前年同月比3.7%増と4月の2.3%増から伸びが加速。全体の1割を占める飲食店収入も5月が同5.0%増と、4月の4.4%から伸びが加速した。

とはいえ、1-5月ベースの小売売上高・総額は前年同期比で4.1%増と、2023年通年7.2%から落ち込んでいる。政府のインフラ投資や輸出増加により今年1-3月の実質GDP(国内総生産)は前年同期比5.3%増と、一見問題ないように見える中でも、不動産不況の影響を受けて消費者の財布の紐は固い。消費者物価上昇率は今年2月以降、前年同月比でプラスに転じたものの、昨年3月以降1%未満を継続。今年5月が0.3%、10日発表の6月が0.2%とデフレ圧力は強まる一方だ。

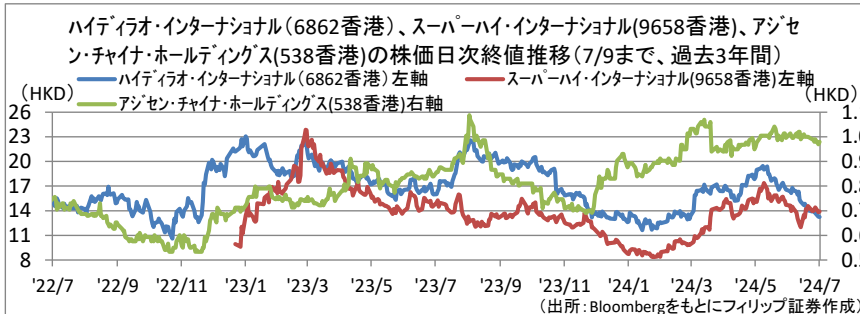
外食チェーンで繁盛している店舗は、百勝中国控股(ヤム・チャイナ・ホールディングス)が始めた格安メニューの新業態「ピザハット WOW」のようなところばかりだ。日本企業も、イタリアンファミリーレストランのサイゼリヤが中国でも割安さで人気。讃岐うどんの「丸亀製麺」を運営するトリドールホールディングスもとんこつラーメン「ラー麺ずんどう屋」の中国進出では日本国内よりも価格帯を低く設定している。



“熊本とんこつ味千ラーメンと火鍋チェーン・ハイディラオ”

そのようななか、日本でも熊本ラーメンの「味千ラーメン」でお馴染みの味千(中国)[アジセン・チャイナ・ホールディングス](538 香港)が目される。熊本ラーメンと言えば、焦がしたり揚げたりしたニンニクのチップやマー油(ニンニクを揚げた油)と豚骨スープの組み合わせ、具材にキクラゲが入った特徴がある。同社は、「味千ラーメン」における中国本土と香港他における経営権を熊本の重光産業から取得し、チェーン展開している。23年末の店舗数は前年末比35店減の562店舗。23年12月通期は、売上高が前期比27%増、当期利益が前期の▲1.44億元から1.81億元へ黒字転換。株価も昨年11月に下落から反転上昇し足元1.0HKD近辺で推移。

また、海底撈国際[ハイディラオ・インターナショナル](6862 香港)は、「海底撈」ブランドの火鍋料理レストランをチェーン展開。23年末店舗数が前年末比3店増の1374店舗、23年12月通期は、売上高が前期比13%増の414億元、当期利益が同2.7倍の44.9億元と堅調。海底撈の特徴として様々な接客サービスによる差別化が挙げられる。同社の海外事業がスピンオフした特海国際[スーパー・ハイ・インターナショナル](9658 香港)は、22年12月末に香港に分離上場後、今年5/17に米ナスダック市場(グローバル・セレクト・マーケット)に上場と、火鍋文化の世界的普及に一役買っている。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前日基準日: 20240625 基準日: 20240709

順位	2023年末騰落率・上位10銘柄 (%)	前日順位	
1	中国宏橋集団[ハイ・ホンチャオ・グループ]	96.9	1
2	中国海洋石油 [CNOOC]	82.1	2
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	65.4	4
4	華潤電力控股[チャイナ・パワー・ホールディングス]	58.7	3
5	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	53.2	8
6	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	44.7	5
7	紫金鉱業集団[ズー・ジン・マイニング・グループ]	41.8	10
8	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	40.1	9
9	Meituan (美国)	40.0	6
10	ビビリ	38.6	7

順位	2023年末騰落率・下位10銘柄 (%)	前日順位	
96	萊明生物技術[ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-63.4	96
95	East Buy Holding Ltd	-59.1	95
94	蔚来汽車[ニオ]	-51.8	94
93	小鹏汽車	-48.9	92
92	JD Health International Inc (京東健康)	-47.2	91
91	理想汽車	-38.4	93
90	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-35.5	89
89	新世界發展 [ニューワールド・デベロップメント]	-34.0	90
88	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-33.2	85
87	舜宇光学科技(集团)[サニーオプティカル・テクノロジー]	-32.8	84

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2024年6・7月: 中国主要経済指標】

- 6月27日(木)
 - ・1-5月工業利益<前年同月比>: 前回+4.3%、結果+3.4%
 - 6月30日(日)
 - ・6月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5、結果49.5
 - ・6月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.1、結果50.5
 - 7月1日(月)
 - ・6月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.7、結果51.8
 - 7月3日(水)
 - ・6月(財新)サービス部門PMI: 前回54.0、結果51.2
 - 7月7日(日)
 - ・6月外貨準備高: 前回3.23兆USD、結果3.22兆USD
 - 7月10日(水)
 - ・6月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+0.3%、結果+0.2%
 - ・6月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲1.4%、結果▲0.8%
 - 7月12日(金)
 - ・6月貿易収支: 前回+826億USD
 - ・6月輸出<前年同月比>: 前回+7.6%
 - ・6月輸入<前年同月比>: 前回+1.8%
 - 7月9-15日(火~月)
 - ・6月資金調達総額: 前回14.80兆元
 - ・6月新規人民元建て融資: 前回11.14兆元
 - ・6月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+7.0%
 - 7月15日(月)
 - ・2Q(4-6月期)GDP<前年同期比>: 前回+5.3%
 - ・6月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.7%
 - ・6月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+5.6%
 - ・1-6月不動産投資<前年同月比>: 前回▲10.1%
 - ・1-6月固定資産投資<前年同月比>: 前回+4.0%
 - ・6月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.71%
 - ・6月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲30.5%
 - ・6月調査失業率<前年同月比>: 前回5.0%
 - 7月22日(月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.95%
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。